

Neo Local Material Design Seminar Urban Wooden+α

# 第1回 都市内木造の可能性を考えるゼミナール

— 新しい耐火集成材から考えるこれからの都市内木造 —



抱憲誓 研究員

比留間 基晃 氏

講師 / 鹿島建設 技術研究所 抱憲誓 研究員  
鹿島建設 建築設計本部 比留間 基晃 氏

近年、RC造やS造だけでしか建てられなかった都市部に、新たな木造空間をつくれるようになりました。第1回は、鹿島建設が開発した耐火集成材FRウッドを素材に、都市内木造の課題や、今後の新たな展開について考えます。

左のイメージは下記鹿島建設のFRウッド紹介ページより引用  
<http://www.kajima.co.jp/tech/mokuzou/fire/>

まちもくひろしま  
MACHI-MOKU HIROSHIMA

2016.10.1 (SAT) 16:30-18:30 | 定員:60名  
受講料:無料

合人社ウエンディひと・まちプラザ / 北棟6F マルチメディアスタジオ  
(広島市まちづくり市民交流プラザ)

# Urban Wooden +α

現在、地域特有の魅力ある街や地産地消による産業循環をつくる一つの方策として、都市内木造等の自然素材を活用した新たな技術や制度が検討されています。しかし、その方策はまだ未知数で、具体的にはどのように捉え、活かして行けば良いかわかっていません。このため、この「Urban Wooden+α」(継続的ゼミナール)では、都市内木造を中心に、自然素材を活用した新たな技術の可能性と、それを実現するための社会の在り方について考えます。

現在、この「まちもくひろしま」のゼミナールの活動助成は、広島県建築士会広島支部が行っています。